

令和3年7月2日
報道提供資料

柏記者クラブ 各位

一般社団法人あびこ自然エネルギー
代表理事 澁谷 和幸

「自然エネルギーをすすめる我孫子の会」が2015年に設立以来、当会の有志が2017年に「一般社団法人あびこ自然エネルギー」を設立しました。

私どもは、この6年間自然エネルギーの普及を目指し、地産地消の自然エネルギーの創出を目的に活動して参りました。

このたび、最初の発電事業として我孫子市内の障害福祉サービス事業所の屋根をお借りして太陽光発電市民発電所を設けることとなりました。

市民から設置費等の募金を募った結果、このほど市民47名から350万円の募金を得ることが出来、2021年5月、経済産業省から事業計画の認定を受けました。7月初旬には、発電装置設置工事を行い、7月下旬には発電を開始する予定です。

この発電事業は、市民が企画し、市民のお金で、市民が運営する市民発電所です。

また、発電設備を設置する事業所で消費する数少ない自家消費型のプロジェクトです。

詳しくは別紙をご覧ください。

問い合わせ先

一般社団法人あびこ自然エネルギー
理事 青木 弘

電話：090-9399-1431

市民発電プロジェクト「木の子クラブ我孫子ひの木」

1 発電事業の概要

発電所名：NPO法人木の子クラブ我孫子「ひの木」

(障害者福祉サービス事業所)

発電実施場所：我孫子市湖北台3丁目4-7

発電の種類：太陽光発電

事業実施期間：開始2021年7月 終了2036年6月

事業実施主体：一般社団法人あびこ自然エネルギー

(我孫子市が団体会員である自然エネルギーをすすめる

我孫子の会の有志が2017年6月に設立)

我孫子市本町3丁目5-25

代表理事 澁谷 和幸

技術担当理事 谷 辰夫

(元日本太陽エネルギー学会会長)

2 事業の推移

2021年1月 東京電力パワーグリッド株式会社と接続契約締結

2021年5月 経済産業省から発電事業計画の認定

2021年7月 太陽光発電設備設置

2021年7月 発電開始(予定)

3 事業の内容

発電容量：11kW

発電量：約22万kWh(15年間推定)

売電収入：約400万円(15年間推定)

発電設備設置費用：約300万円 所要資金：約350万円

資金調達方法：寄付金及び無分配型出資

(金融商品取引法2条2項5号ロ)

資金調達先：一般市民(寄付金31名 無分配型出資16名)

発電した電力の販売先：NPO法人木の子クラブ我孫子

余剰分は東京電力パワーグリッド株式会社

(固定価格買取制度FITを活用)

4 事業の特長

a 市民発電所：市民が企画し、市民のお金で(志金)、市民が運営します。

b 自家消費型：発電した電力を、太陽光発電設備を設置する施設で消費する。

これまで殆どの市民発電所はFITを活用、自家消費型は数少ない事例とされています。

c 災害時などに非常用電源として活用します。